

保全池



ゼニタナゴ放流体験



さかな
お魚イキイキ!
みんなでワクワク!
ほっけい
放流体験



ゼニタナゴの里を目指して

涌谷町旧迫川右岸地域環境保全協議会

★★★★ プログラム ★★★★★

放流日時：平成19年10月16日（火） 午前10時
放流場所：保全池
参加者：小里小学校の児童
涌谷町旧迫川右岸地域環境保全推進協議会構成員

AM10:00 1. 開 会

AM10:05 2. あいさつ 涌谷町旧迫川右岸地域環境保全推進協議会
会長 大友利明

AM10:10 3. 放流体験 大崎地方振興事務所 佐藤公道
●ゼニタナゴってどんな魚？
●放流の手順

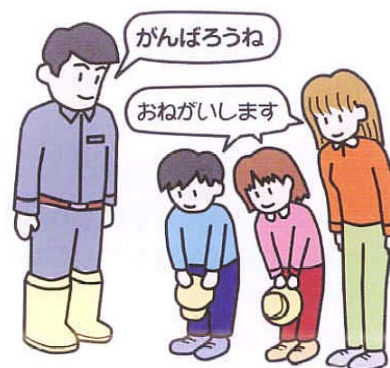
AM11:00 4. 昼 食 おにぎり・芋煮

AM11:30 5. 閉 会 ゼニタナゴを復元する会 会長 伊藤徳雄



放流の前に

これからゼニタナゴを放流する保全池は、地域の方が大切にしている場所です。今回は特別に放流をしますが、いつもは子供だけで勝手に入ったりしてはいけないところです。この放流の時以外に自分たちだけで近づくのはやめて下さい。係員の言うことをよく聞いてルールを守りましょう。



よみがえれ！ゼニタナゴ！

自然と共生する田園環境の創造は、われわれにとって新たなチャレンジです。みんなで考え、楽しみながら環境との調和への配慮を進めていきましょう。



1. 楽しみながら取り組みましょう

地域に存在するまたは存在していた生きものたちを守り、回復させるために、その地域にあった方法を創意工夫し、「遊び心」をもって取り組みましょう。

2. みんなで創り、育てましょう

計画や実施にあたり、地域の人々の様々な角度からの自由な意見を取り入れ、維持管理も地域の人々で役割を担い、水田やため池などが「みんなの宝」であるという気持ちで取り組みましょう。

3. できることから始めましょう

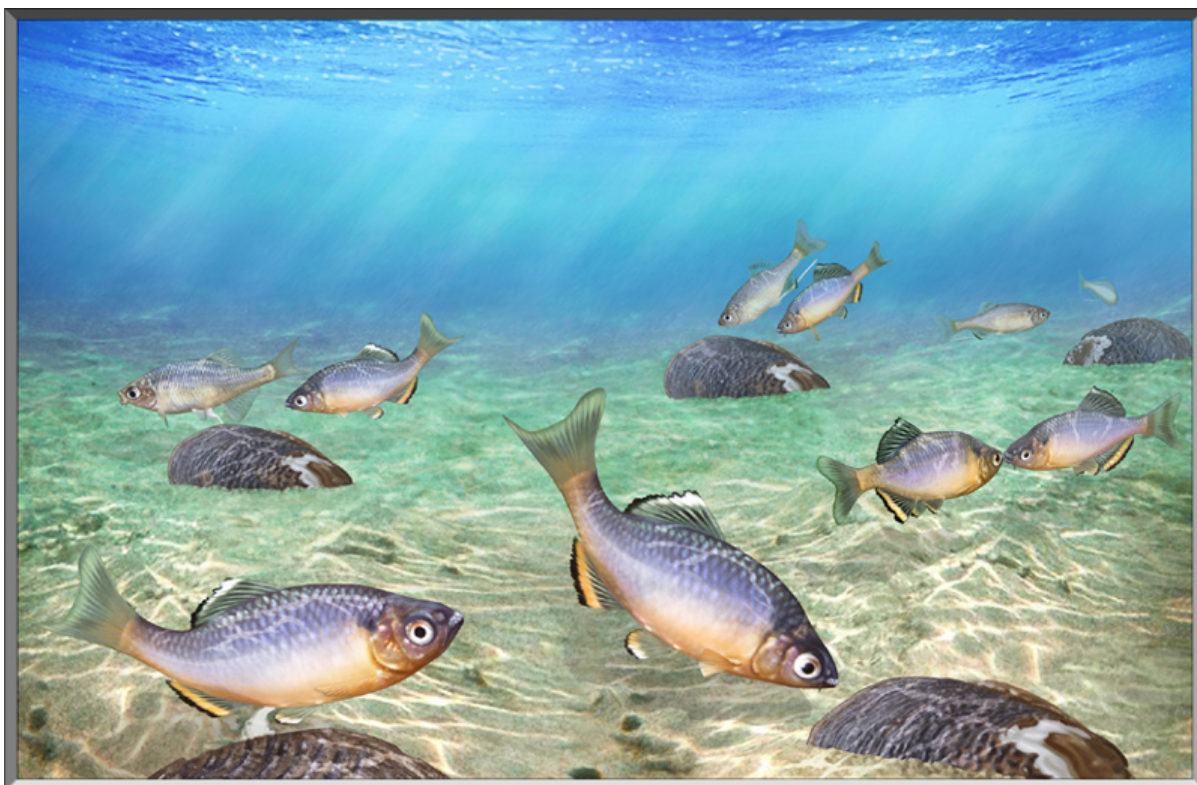
農業者、自治会、子供会など関係する人々の間で、計画や実施の内容、将来の維持管理の方法などについて了解され、体制が整ったところから順次、着実に行っていきましょう。

4. 少しずつ広げていきましょう

農村景観を含む一定の広がりをもった環境の中で、「水の流れ」や「生きものたちのつながり」を考慮し、徐々に生きもの種類を増やすような環境づくりを目指しましょう。

5. 粘り強く続けましょう

一度造ったら作りっぱなしというのではなく、その後どうなるかを見越し、また、施工後の状況についても調査し、必要なら修正するなどして、徐々により良いものにしていきましょう。



保全池
ゼニタナゴ放流体験